

議 事 録

会 議 名	令和4年度 第2回寒川町生涯学習推進会議		
開 催 日 時	令和5年3月28日（金） 午後3時00分～午後4時		
開 催 場 所	寒川町役場 東分庁舎2階 第2会議室		
出席者名、 欠席者名 及び 傍聴者数	出席者：和田委員、林委員、小澤委員、吉田委員、中島委員、平本委員、仲田委員、 加島委員 欠席者：金井委員、関口委員 事務局：芝崎学び推進課長、佐野学び推進課主査、佐藤学び推進課主事 傍聴者：なし		
議 題	(1) 「第2次寒川 学びプラン」令和3年度事業の評価について (2) 「第2次寒川 学びプラン」令和5年度実行計画について		
決 定 事 項	○議事録承認委員は、中島副会長及び加島委員が務めることを確認。		
公開又は 非公開の別	公 開	非公開の場合その 理由（一部非公開 の場合を含む）	
議事の経過	<p>1 開会 芝崎学び推進課長</p> <p>2 あいさつ 中島副会長</p> <p>3 議事録承認委員の指名 承認委員は中島副会長、加島委員が務めることに決定する。</p> <p>4 議題 (1) 「第2次寒川 学びプラン」令和3年度事業の評価について（資料3） ・資料3により事務局から説明</p> <p>【副会長】今、事務局から説明がありましたとおり、こちらの議案について、皆様から活発な意見等をいただければと思います。皆様、ご意見等ありますか。</p> <p>【委員】実は、こちらの中で、1、2、3、4、5、コロナ禍を乗り越えた以下は、ソースは私です。書面会議のときにこういう資料を事務局に渡しました。その内容を簡条書にさせていただいたのが、このコロナ禍以降の項目になります。内容に関しては、説明したほうがよろしいですか。時間があるなら、少し説明します。</p> <p>【事務局】お願いします。</p> <p>【委員】では、私の本旨の部分だけ。コロナ禍を乗り越えた時点で、評価がどのように変化するか注目したいといいますが、実はコロナ禍で実施できていない事業があるのですね。ということで、コロナ禍を乗り越えた後に、A B C Dがどう変化するか注目したいということです。</p> <p>それから、高齢化による各団体の会員減少ということですが、これは、コロナ禍における生涯学習に対するモチベーションが高いという事業成果が見受けられません。同時に、高齢化による各団体の会員減少や活動意欲の低下、人材不足が示され、サークルの高齢化や固定化が課題であることが分かりましたということで、この高齢化に関して出しました。</p>		

また、コロナ禍で活動休止が続くボランティアのモチベーション・ケア、そして、ボランティア同士の交流を図る機会づくりの大切さというのを、やはり事業の中から見えてきましたので、これもあげさせていただきます。

次が、だれでも学べるというところですけれども、これは担当課共通のNo. 38から42の事業に当てはまりまして、資料3でいうと、ページ31から33に実績報告がございます。内容的には、38というのは、子育て世代の学習ということで、託児、それから、39が障害のある方々の学習機会ということで、手話や要約筆記になります。これらの継続は、行政の在り方を示す大事な事業だと私は信じていますので、予算の確保等の継続をお願いしたいということ、つまり、なくしてはいけない事業じゃないでしょうかということであげさせていただきます。

さらに、41のアンケート調査、これは、ページ31から33の中に含まれる393の事業の中で170、43.3%の実績でした。私の意見としましては、事業に対するフィードバックの重要性から、100%の実施が望ましい、アンケートが実施できない場合は、事業担当への聞き取りと、実現するための調査、また、アンケート調査にそぐわない事業は別の尺度で実施してもらいたいということであげました。

42番のインターネット活用の講座の部分に関しては、393事業の39、9.9%の実績です。ネットによる参加申込事業をぜひ拡充していただきたい。もちろん、電話でも非対面ですけれども、24時間講座申込みができる環境はネットの強みです。まずは環境整備、そして、運用方法の検討ということで対応をお願いしたいと思います。

【副会長】 今、ご質問の案件、3つほど出ましたけれども、事務局からお願いします。

【事務局】 こちらの評価（案）ですけれども、委員の皆様からご意見等をいただきまして、事務局として、たたき台という形でつくらせていただいた文面がこちらというふうになっています。

委員からもいろいろご意見をいただきましたので、今後、来年度以降の事業につきましても、各担当課にもこちらから伝えたり、働きかけをしたりしていきたいと思っています。

【副会長】 その他、ご質問等がある方がいらっしゃいましたら、お願いします。

【委員】 質問ではないかもしれないですけれども、本校も学校評価に関して、昨年度までは紙を保護者に配って、紙を回収するという方法でやっておりました。これは、インターネットの活用というところで、小・中学校8校、全部、今年度は学校評価をインターネットでもできるQRコードを紙に載せまして、「それを読み取って行ってください、24時間大丈夫です」という形を取りました。

その結果、8校全てで、これまでの回収率よりも落ちてしまいました。理由の中で考えられるのは、24時間いつでもできるというのは強みなのですが、逆に、いつでもできるから後でもいいやというふうに延ばしてしまっているのではないかと。

もう一つは、紙は無記名ですけれども、ネットで行うことによって、無記名のはずですけれども、誰が書いたのかというのを特定されるのではないかと、誤解が生まれていたのではないかと。自由記述のところもあるのですけれども、なかなか提出率も低くなってしまったという経緯がありました。

ですので、こちらにも書いていただいた参加申込みについてなどは、本当に推進して活用すればいい方向にいくと思うのですが、一方で、ネットで注文とか、それから、予約をする際に簡単に取消することもできると、やっぱり前日に駄目になったので取消しというようなことができるかと思っています。そうすると、スムーズに参加の意欲がそのまま反映され、本当に出たかったのだけど、「前日に都合が悪くなったり、具合が悪くなったりしたから取消します。」というようなこともできるのではないかと感じました。

私はゴルフをやるのですが、ゴルフの予約取消しも、3日前ぐらいだとキャンセル料がかかるかということ、押すのをためらってしまいます。予約もできるけれども、取消しもできるというものや、今、予約が何名入っているかとか、予約の取消し方法

というのも併せて周知するなど、よりやりやすい方法ができると、インターネットを活用した申込みというのが、もっと活発に広がっていくと感じております。

【副会長】インターネットの活用があるというところで、ご意見ありがとうございます。その他ございましたら、よろしく申し上げます。

【委員】担当共通事業については、各担当課をまとめ、コントロールしている部門は役所のどちらでしょうか。

【事務局】共通の事業につきましては、それぞれ事業を実施している課に事業報告をもらっているのですけれども、まとめ上げるというか、そういった部門はこちらの学び推進課になります。

【委員】それは、物が言える立場なのですか。それとも、ただ集約してきてまとめて載せるだけなのでしょうか。

【事務局】令和3年度、4年度につきましては、庁内の課長級を対象とした会議が書面会議になってしまったので、皆様からいただいたご意見等を、書面会議という場だったので、なかなか伝えることが難しかったのですが、本来であれば、庁内の課長級を対象とした会議におきまして、皆様からのご意見等は、こちらからお伝えすることになっています。

【委員】なぜ聞いたかといいますと、38から42の5つの事業は、評価項目がCとなっている。要は、コントロールされているとは思えないですね。各担当が、俺はやっているのだと言い切ればそれで終わる、せつかくのこういう事業を、何とかよくしたいなというのが私の思いなのです。

CやDが悪いという意味じゃないです。これの事業に対する成果・課題のコメントが非常に後ろ向きですよ。言い訳に見られるような部分もあります。参加しやすい環境づくりを進めることができたと言っている夜間・休日はCですよ。言い切っているのに。大きく下回っているのに、できたと言っている。

それから、41番のアンケートに関しては、アンケート調査の実施が難しい場合もある、自分で認めていて、じゃあ、代替案はどうなのと、別の評価方法はないのというのは考えていないのです。インターネット、委員がおっしゃってくれたのと関係していますけれども、本来、先ほど言いましたように9.9%しか実施されていない、それでいてというように、この共通担当事業はちょっと気になります。ですので、しっかり事業の重要性を伝えていただきたいなと思います。

【副会長】評価の方法のアンケート実施について、事務局から対応をつめていただければと思います。その他、何かご意見等はございますか。それでは、意見がないようですので、議事を進めさせていただきたいと思います。

私から、公表についてはどういう流れでやっていくのかというのを聞きたいのですけれども。

【事務局】こちらの評価(案)で皆様からご同意をいただければ、ホームページですとか、そういったところで公表の手続を行っていきたくと思っています。

例えば、もうちょっと付け足してほしいですとか、こういった部分を変えてほしいというのがあれば、この場でご意見をいただいて、ただ、この場で修正したものを皆様にお見せするということができないので、修正するようなことになれば、また、こちらで案を作成いたしまして、皆様に一度修正したものを送りして、確認していただくというふうにさせていただければと思っています。

こちらの事務局案で、基本的に皆様のご同意をいただければ、こちらで公表の手続を進めさせていただければと思っていますのですが、いかがでしょうか。

【副会長】事務局より説明がございましたけれども、皆様どうでしょうか。大丈夫でしょうか。

【委員】私の言ったことは入れなくてもいいですよ。事務局に対しての思いなので、これに対する意見ではございません。

【事務局】そうしますと、基本的にはこちらの34ページの評価(案)を公表させていただき、皆様からご同意を得たということによろしいでしょうか。

【副会長】皆様、大丈夫ですかね。委員、何かございますか。

【委員】いえ、令和3年度で、令和4年度は活動しているから、もう以前のは、ちょっと、だいぶ4年度になって活動が活発になってきているから。

【事務局】そうですね。ちょっとタイムラグがあるかもしれないのですがけれども。

【委員】でも、大変なときでしたからね。

【副会長】そうですね。コロナで大変でしたね。

【委員】一つよろしいですか。大変しっかりまとめていただいて非常によろしいかなと思うのですが、先ほどの34ページの項目で、委員がおっしゃられたように、それぞれの項目にこの内容がリンクしているところがあると思うのですね。この項目に対して一番指して言っている、強く言っているというところが、この箇条書だけでは分かりにくいところがあるかなと思いました。

これに関してのご意見が、非常に建設的といいますか、積極的なご意見が出されているので、これがどの項目に対して強く関わっているものかというのが分かるような形が、できればありがたいかなと思っております。いかがでしょうか。

【副会長】事務局、お願いします。

【事務局】皆様から8月の書面会議の際に、ご意見をいただきまして、この事業に対してこういう意見だというようなご意見をいただいている部分もあったので、この事業に対してといいますか、全体を通してのご意見だったのかなと、こちらとしては思っておりますので、この事業に対してこうだという様に、細かい点で入れてしまうと、評価(案)としてどうなのかというのもございまして、本来であれば、そのほうが委員おっしゃるようになりやすかった部分もあるのかもしれないのですが、全体の事業に対しての評価というような形で今回は作成しています。

【副会長】ピンポイントで意見をあげるというようなことじゃなくて、総合的に考えて意見を出していただいたというところで、今後、意見の抽出の仕方、そこをもうちょっと深く考えていただければと思いますので、今後の意見として、よろしいでしょうか。

【委員】今後の意見としてよろしいかと思うのですが、なぜ申し上げたかというところ、これはピンポイントで1対1にする必要はないのですがけれども、カテゴリーにするというか、どのカテゴリーに対してこの意見というのがあれば、次のアクションプランを立てやすいじゃないかと思って、これは、ここの部分に対しての意見だから、次のアクションが立てやすくなるので、今回、書面でいろいろ回答を集めていただいて、大変なことだったと思うのですがけれども、これから、次のアクションプランを立てるためにどうするかの手段のプロセスの問題と思うので、そこら辺、カテゴリーとリンクさせて、そして、それがこういう意見だったから次にこうというものと、非常に実際の施策の実現につながっていくのではと思っています。これからのということで、よろしくをお願いします。

【事務局】委員がおっしゃるように、第1回の書面会議での意見の回答用紙の記載の仕方、もう少し工夫すればよかったというふうに思います。というのは、資料ごとに、この資料に対してのご意見はあるかどうかというような回答用紙にしたので、そうで

はなくて、カテゴリーごと、このカテゴリーについての意見があるかというような、今後はそういった形で皆様から意見をいただくときに工夫をしていきたいと考えています。

【副会長】 その他、ご意見、ご質問ありますでしょうか。大丈夫そうですね。

それでは、こちらの議題につきましては、以上にしたいと思います。

最後に、最終的な確認段階で、細かい文章表現等の修正部分につきましては、私、副会長に一任していただければと思いますので、皆様、よろしく願いいたします。

(「はい」の声あり)

(2) 「第2次寒川 学びプラン」令和5年度実行計画について(資料4)

・資料4により事務局から説明

【副会長】 皆様、ご意見ございましたら、発言をお願いいたします。

【委員】 ちょっと私の思いをまとめて事務局に出してあるのですが、皆さんのご意見が出た後に、最後に思いをお話したいと思います。

【副会長】 ありがとうございます。皆様、ありますでしょうか。

【委員】 意見じゃないですけど、質問ですけど、伺います。ちょっとつまらないことですが、資料のところどころで見え消しの部分があるのですが、この見え消しは何か意味があるのでしょうか。字があって、そこに線が引いてあるのですが、それは何か意図が。

【事務局】 おっしゃるとおり、見え消しの部分は何カ所かあるのですが、こちらのプランが令和3年度からですが、策定の作業をいたしましたのが令和2年度1年間を通してということになりまして、策定段階では目標数値に対してこういった根拠を出してもらっていたのですが、その後、修正等があった事業につきましては、見え消し等で修正があったということで、分かるようにこういった記載をしています。策定のときから修正があったということでこういった表記をしています。

【副会長】 予定段階から予定が変更されて、当初こういう事業だったけれども、変更になったというところでよろしいでしょうか。その他、ありますでしょうか。

【委員】 令和3年度の事業報告が出て、今、令和4年度の最後のほうですよね。この令和4年度の活動を踏まえて、さらにこの令和5年度というのが出てきているのかなって。そこまでじゃないけど3年度のこれを土台にして、もうこれが出来ているのかなとちょっと思ったものですから。令和4年度がもう終わりですよね。ですから、この4年度の過程を、活動を踏まえて、この令和5年度の内容が出てきているのか。そのあたりが知りたいです。

【副会長】 今のは令和4年の事業計画について、まだ検討されていないので、3年度の検討をしてから5年度が出てきている、予定を組んでいるということですかね。

【事務局】 そうですね、こちらの令和5年度の実行計画を依頼しましたのが、年明けの1月、2月になるので、令和4年度の事業をほぼほぼ進めている最終段階で、予算の関係とか、そういったものも含めて、それを踏まえて令和5年度の実行計画について各担当、各事業課がこういった形で来年度行っていくということで策定したものと考えています。

【委員】 こういうふうに、3年度みたいに4年度が出るのは、次の段階で出てくるのでしょうか。

【事務局】そうですね。

【委員】私も今の意見に同感であって、本当にこの過去の3年度の事業が反映されているかという、ちょっと疑問だなと思うのですよ。例えば、評価でCとかDとかというのがありますがね。そのC、Dが悪いとは言わないですけど、今の予算の関係でこういう参加人員が少ない、実施が少ないのはコロナの関係もあると思いますけれど、こういう評価の低い事業について、また今年度も載せているじゃないかと思うのですけど、こんなにたくさん載せて実際にできるのかどうかというのが疑問なのですよね。いつも絵に描いたもちになっちゃうのが結構あるじゃないかと思うのですよ。その辺、本当に作っている人たちは反省しているのかどうかというのが伝わってこないですよ、この資料を見ても。

【事務局】今、委員がおっしゃったのは、この資料3についての……。

【委員】資料3について、評価をしていますよね。これ、評価は自分たちでしているのでしょうか？

【事務局】そうですね。

【委員】本来、評価っていうのは第三者がするのが評価であって、自分たちでやるというのはどうしたって点が甘くなってしまうと思うのですよ。国の統計だって政府を評価するのは、国民が評価するのであって、第三者の国民が評価しているのだけど、自分たちでやっているわけじゃないよね。だからこの評価というのも本当にどうなのかというのは、私自身はちょっと疑問なのですよね。それはともかくとして、それをわきまえて、5年度が反省された案なのかどうかというのは聞きたかったですよね。こんなにたくさんやって、本当にできるのかということで、もう少し絞り込んでもいいじゃないかなとは思いますが。

【事務局】令和3年度評価につきましては、今、委員から自分たちで評価しているのではというような意見をいただいたのですが、実際に目標数値に対して実績値がこうで、それを評価方法としては、資料3の1ページ目にあります、こちらの目標数値に対する実績値の割合で、A B C Dの評価をしています。ですので、自分たちでの評価というよりは、目標数値に対する実績値の割合を、自動的にこういった評価を出すようにこちらは指示しておりますのが、このA B C Dの評価になりまして、数字だけでは捉えられない部分もあるので、事業の成果、課題等を各担当課に出してもらっているところです。

令和5年度、これだけ事業を実施できるのかというご意見ですが、こちらとしましては、「第2次寒川 学びプラン」が現在65事業ございまして、「学びプラン」が令和6年度までの実施計画になるので、基本的にはこの65事業を「学びプラン」の事業として進めていくこととなります。また、今後についてはいろいろ調整等もあって、事業が減ったり増えたりということもあるかもしれませんが、現時点ではこの65事業で進めていくということで各担当課にはお願いしているところです。

【副会長】令和5年、令和6年度はこの評価基準に基づいて事業を実施、評価したいというところでもございました。私からも、65事業、そんなにできるのかなと思ってはいるのですが、評価の仕方も複雑にするとより大変なのかなと思いますけれども、頑張っていたきたいと思えます。

その他、ご意見等ございませんか。もしなければ、委員のご意見を頂戴しようかと思えます。

【委員】ちょっと長くなります。自己紹介が遅れましたけれども、社会教員委員です。本職はNPO法人世界遺産アカデミーの正会員として、世界遺産を通じて文化の多様性ですとか、地球環境保護、そういう活動のお手伝いをさせていただいています。

それでは、本題に入ります。令和5年度の実施計画について思うことをちょっと。この「第2次寒川 学びプラン」、令和3年度から令和6年度までの事業計画です。し

たがって同一の事業内容は4年間継続されます。これは4年をかけて当該事業の完成、習熟を目指しているとも言えます。同一内容を続ける継続事業は惰性での活動が危惧されます。事業を続ける理由、到達目標をしっかりと把握して、目標に向かって継続していただきたいと思ひます。

皆さんご存じだと思いますけれども、伝承と伝統という言葉があります。伝承というのは変えずに守り伝えること、古くからのものをそのまま後世に伝えていくことです。伝統、これは変えてはいけないものを守りつつ、同じ技術や材料を使いつつも、新しいことに挑戦して革新していく。ですから、継続事業は伝承ではなく伝統の考えで取り組んでいただければと思ひます。つまり事業の計画、実施のみとせず、結果をチェックして、次年度には改善をし、よりよい事業としてこの「学びプラン」の継続をお願いします。

また事業そのものについても、求められる、求める事業なのかということ。例えば、世界一の製品を作っても、それを求める人がいなければ価値はないですね。逆に世界一の製品でなくても、それを求める人がたくさんいれば、それはすごく価値があるものになります。要は寒川町に暮らす人々が求める生涯学習事業ができていますか。さらにうまくいっていない事業も続けられる体力を持ち続けること、本当に必要な寒川らしい事業は切り捨てられることがないように希望します。

【副会長】 こちらの継続の仕方について、それから、何かあればよろしくお願ひします。

【事務局】 貴重なご意見をありがとうございます。事務局としましても、参考にさせていただければと思ひています。

【副会長】 そのほか、なければ先に進めさせていただきたいと思ひますけれども、いかがでしょうか。

【委員】 中学校の話でまた恐縮ですけど、学校評価についても、学校運営協議会という、コミュニティ・スクールというのが寒川町で全校始まります。来年度の令和5年度で全校に設置ということで、今もう半分以上設置しているのですが、寒川東中学校は2年目を終えて今年度3年目になります。

委員から学校評価のアンケートの結果をお見せしてご意見をいただけてきたところですが、本当に貴重なご意見ということでもいただいたものの中に、やっぱりアンケート項目は、書き方、示し方によって答えるほうが迷わないで済むものと、あとはやっぱり、例えば、この授業は分かりやすい授業をしているという、その分かりやすいところが、保護者と子供たちに聞くものがあるのですが、子供たちに聞いた分かりやすい授業というのと、保護者に聞く分かりやすい授業というのは、やっぱり受けてない方に聞く文言としては、保護者に対して、それは適切なのか。子供にそのアンケートを答えるときには必ず「分かりやすい授業なの？」と聞くと思うのですが、分かりやすいイコール自分が学習をして何か成果を出しているとか、分かりやすいイコール楽しいなのか、書き方によって、答えるこたえがはっきりと出てこない、アンケートというのはいけないのではないかとご意見から、文言を少しずつ修正しております。改良しています。

そこで、今年も去年から一つ改良したものに関しては、全然違う数字が出てきたということもありますので、今の委員のお話からもそうですけど、考えることは、アンケートを実施する、しないだけではなく、アンケートの項目も、1つの例だと「これは寒川らしい事業だと感じますか」とか、「寒川らしい事業にするためにはどういうふうにしていけばいいですか」とか、本当に一例ですけども、そんなアンケート項目の精選というのを、この4年間やって、その後、項目としては必要なのかなというふうにとっても感じました。4年間同じアンケート項目でやって、数字が経年変化を追っていくのも大事だと思ひのですが、最終年度にどういうアンケート項目をするといのか、やはり検討する必要がすごくあると思ひます。

【副会長】 4年1クールの切り替えの時期に、おそらくアンケートの取り方、聞き方を参考にして次年度に生かしていただければと思ひます。

	<p>【委員】今、委員がお話ししたことにすごく感銘を受けまして、じゃあ、それはもし、この「第2次学びプラン」が終了するときには、実際に大元があってピラミッド型に事業を割り振っているわけですが、それをもう一回トップに戻して確かめ直してほしいです。本当にその事業に対して、トップに考えている内容が各事業に割り振られて、その割り振られた内容が本当に、我々、寒川町民のために生涯学習ができていくのかという確かめをしていただければと思います。この令和5年度とずれちゃうのですけども、申し訳ないですけども、ちょっと思いました。</p> <p>【副会長】他に何かございますか。なければ、今回、令和5年度事業について、実行計画を進めさせていただきたいのですけれども、今回、反対意見等は出ておりませんので、こちらでよろしいでしょうか。</p> <p>(「はい」の声あり)</p> <p>【副会長】大丈夫そうですね。それでは、ご確認いただきましたので、皆様からいただいたご意見等を踏まえて令和5年度実行計画に基づき事業を進めていきたいと思えます。</p> <p>次第の5番、その他に移らせていただきます。皆様、どうでしょうか。なさそうですね。それでは、事務局から何かございますか。</p> <p>5 その他 ・事務局から事務連絡 ○令和3年度・4年度の委員の任期が3月31日をもって満了となる。 ○令和5年度・6年度の委員について、すでに選出団体の代表あてに推薦依頼を送付済み。</p> <p>6 閉会 芝崎学び推進課長</p>
配付資料	<p>資料1 令和4年度寒川町生涯学習推進会議委員名簿 資料2 寒川町生涯学習推進会議設置要綱 資料3 「第2次寒川 学びプラン」令和3年度事業報告(案) 資料4 「第2次寒川 学びプラン」令和5年度実行計画</p>
議事録承認委員及び 議事録確定年月日	<p>・中島 寛明 ・加島 勝子</p> <p style="text-align: right;">(令和5年5月17日確定)</p>